

Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

為替週間展望＝ドル円は107円台を中心に一進一退の動きか

[6月1日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)			5月25日～5月29日		
	始 値	高 値	安 値	終 値	前週比
ドル・円	107.59	107.95(27)	107.09(29)	107.17	-0.47
ユーロ・ドル	1.0897	1.1111(29)	1.0871(25)	1.1096	+0.0195
=====					
国内株・金利／米国株・金利					
	終 値		前週末比		
日経平均株価	21,877.89	+1489.73	日本10年債利回り	0.009	+0.009
ダウ平均株価	25,400.64	+935.48	米10年債利回り	0.690	+0.031
=====					

<来週の主要経済統計等>

- 1日 中国5月財新製造業購買担当景気指数
英5月製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
米5月ISM製造業景況指数、米4月建設支出
- 2日 豪第1四半期経常収支
豪中銀(RBA)政策金利
スイス4月小売売上高
独5月製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
ユーロ圏5月製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
- 3日 豪第1四半期国内総生産(GDP)、豪4月住宅建設許可件数
スイス第1四半期国内総生産(GDP)
独5月雇用統計
英非製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
ユーロ圏4月生産者物価指数、ユーロ圏4月雇用統計
米MBA住宅ローン申請件数
米5月ADP雇用統計
カナダ銀行(BOC)政策金利
米5月ISM非製造業景況指数、米4月製造業受注
- 4日 豪4月貿易収支、豪4月小売売上高
スイス5月消費者物価指数
独5月非製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
ユーロ圏5月非製造業購買担当者景気指数(PMI) 確報値
ユーロ圏4月小売売上高
欧州中央銀行(ECB)政策金利
ラガルド総裁記者会見
カナダ4月貿易収支
米4月貿易収支、米第1四半期非農業部門労働生産性指数
米新規失業保険申請件数
- 5日 日本4月勤労者世帯家計調査
日本4月景気動向指数速報値
独4月製造業受注指数
米5月雇用統計
カナダ5月雇用統計
カナダ5月Ivey購買部協会指数
- 7日 中国5月貿易収支

【前回のレビュー】米中対立がさらに激化して、新型コロナウイルスの感染拡大第2波

が警戒されるようになれば、リスク回避の円買いに傾く可能性もある。こうした中、ドル円は106～107円台のレンジを中心とした動きを続けるとした。

【経済活動再開への期待感が株高の要因に】

米国では多くの州で経済活動を再開、欧州やアジアでもロックダウン（都市封鎖）から徐々に経済活動が再開している。また、米国では、26日にニューヨーク市のデブラシオ市長が、6月前半から経済活動を再開する可能性を示唆した。こうした動きが景気回復から正常化に向かうとの見方につながっている。

新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感も広がっている。25日に米バイオ医薬品企業のノババックスは、ワクチン候補の臨床試験を開始したと発表した。26日に米医薬品大手のメルクはワクチン2種類を開発すると発表した。いずれも本格的に利用されるのはまだ先のこととなるが、市場では新型コロナウイルスへの対抗手段として期待が高まっている。

経済活動再開や新型コロナウイルス向けのワクチン開発の報道は株価にはプラス要因となっており、米国株や日経平均は上昇基調で推移している。経済活動再開への期待感から、リスク選好の動きとなってドル売りや円売りの動きに傾きやすくなっている。このため、ドル円は107円台を中心とする狭いレンジでのみ合いが継続している。

こうした中、香港情勢をめぐる米中対立への警戒感がリスク要因となる。28日に中国の全国人民代表大会（全人代）では、香港での反体制活動を禁じる香港「国家安全法」を制定する方針を採択した。香港での言論の自由が制限されたり、高度な自治を認める「一国二制度」が脅かされるとして、米国などでは反発を強めている。

新型コロナウイルスの感染拡大により、経済指標も悪化が続いていたが、経済活動再開の影響もあり、水準自体は低いものの、予想からは上振れするケースも一部でみられる。6月第1週は、米5月ISM製造業景況指数（1日）、米5月ADP雇用統計（3日）、米5月ISM非製造業景況指数（3日）、米5月雇用統計（5日）など、注目度の高い経済指標の発表がある。予想と比べて上振れするようなら、米株高やドル高につながると思われる。

米国をはじめとする各国での経済活動再開や景気回復への期待感はドル円の支援材料となりそうだ。一方で米中対立の激化、新型コロナウイルス感染拡大の第2波はドル円の重石となろう。関連する報道を眺めながら、ドル円は107円台を中心に一進一退の動きが継続するとみられる。ドル円の目先の予想レンジは、106.00～108.50円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、1日に米5月ISM製造業景況指数、米4月建設支出、3日に米MBA住宅ローン申請件数、米5月ADP雇用統計、米5月ISM非製造業景況指数、米4月製造業受注、4日に米4月貿易収支、米第1四半期非農業部門労働生産性指数、米新規失業保険申請件数、5日に日本4月勤労者世帯家計調査、日本4月景気動向指数速報値、米5月雇用統計などがある。

【ユーロドルは堅調な推移か】

27日に欧州連合（EU）の執行機関である欧州委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大で景気後退に陥った域内の景気の立て直しを図るため、7500億ユーロ規模の復興基金案を発表した。新型コロナウイルス対策で債務が拡大するイタリアスペインなどを支えるため、前例のない景気刺激策となる。こうした政策期待に加えて、欧州各国での経済活動再開などもあり、ユーロドルは1.10台まで上昇してきた。

6月の第1週は、ユーロ圏では数多くの経済指標が発表される。特にユーロ圏やドイツの購買担当者景気指数（PMI）確報値の発表がある。このところのユーロ圏や域内各国の経済指標は予想から上振れケースも見られるようになっている。こうしたこともユーロの底堅さの一因と考えられる。4月以降、ユーロドルは1.1000ドル近辺で上値を抑えられてすぐに下げに転じていた。ただ、現時点では1.1000ドルの節目を超えて上昇基調にある。ユーロ圏の景気回復への期待感からユーロドルは堅調な推移となりそうだ。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.0900～1.1200ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、1日に中国5月財新製造業購買担当景気指数、英5月製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、2日に豪第1四半期経常収支、豪中銀（RBA）政策金利、スイス4月小売売上高、独5月製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、ユーロ圏5月製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、3日に豪第1四半期国内総生産（GDP）、豪4月住宅建設許可件数、スイス第1四半期国内総生産（GDP）、独5月雇用統計、英非製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、ユーロ圏4月生産者物価指数、ユーロ圏4月雇用統計、カナダ銀行（BOC）政策金利、4日に豪4月貿易収支、豪4月小売売上高、スイス5月消費者物価指数、独5月非製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、ユーロ圏5月非製造業購買担当者景気指数（PMI）確報値、ユーロ圏4月小売売上高、欧州中央銀行（ECB）政策金利、ラガルド総裁記者会見、カナダ4月貿易収支、5日に独4月製造業受注指数、カナダ5月雇用統計、カナダ5月IVEY購買部協会指数、7日に中国5月貿易収支などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買については御自身の判断をお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。